

[計画名称] 石脇川流域における100mm/h安心プラン 【静岡県焼津市】



流域の概要

近年多発する局地的豪雨により、中小河川や都市下水路など小流域の浸水被害が多発

【静岡県における時間雨量50mm以上の発生回数】

- ・最近（H14～H23）の10ヵ年での平均発生回数は18回
- ・過去（S57～H13）の平均発生回数は11回 →約1.6倍

静岡県中部の石脇川・高草川流域では、過去から多くの浸水被害に見舞われ、近年では平成16年6月洪水（88mm/h）により床上57戸、床下58戸の被害が発生

⇒頻発する局地的豪雨に対して早急な治水対策が急務

- ・流域内の市街地率 S33年：12.1%→H13年：34.5%
- ・河川整備状況（整備計画1/30）
- ・下水道整備（雨水：計画1/7）

【浸水被害の主な要因】

- 土地利用の変化により流出量が増大し、浸水に対する危険度が増大
- 地形的要因により河川への排水が困難、河川改修だけでは効果がない。
- 都市化の進展等により、河川改修及び下水道整備に多大な費用と時間を要する。

⇒流域における治水対策を関係機関が一体となり効果的に組み合わせ推進する必要がある

石脇川・高草川流域の総合的な治水対策について、行政・流域自治体からなる「石脇川・高草川流域総合的治水対策協議会」で検討し、関係機関が対策を実施

石脇川・高草川流域総合的治水対策推進協議会（H17.9.2～）

組織	部局
県関係	河川企画課、河川海岸整備課、道路保全課、都市計画課、土地対策課、生活排水課、農地計画課、農地保全課、生活環境課、島田土木事務所、志太榛原農林事務所、中部地域局
市関係	防災計画課、農政課、環境生活課、下水道課、土木管理課、道路課、都市計画課、河川課

取組の状況

- ・既存の治水施設の効果を最大限活用するための局部的河川改修・下水道整備
- ・流域における治水施設や公共施設等の治水機能を引き出すための流域全体での対策
- ・想定を超える豪雨に対し、流域住民との協働により被害を最小化するためのソフト施策

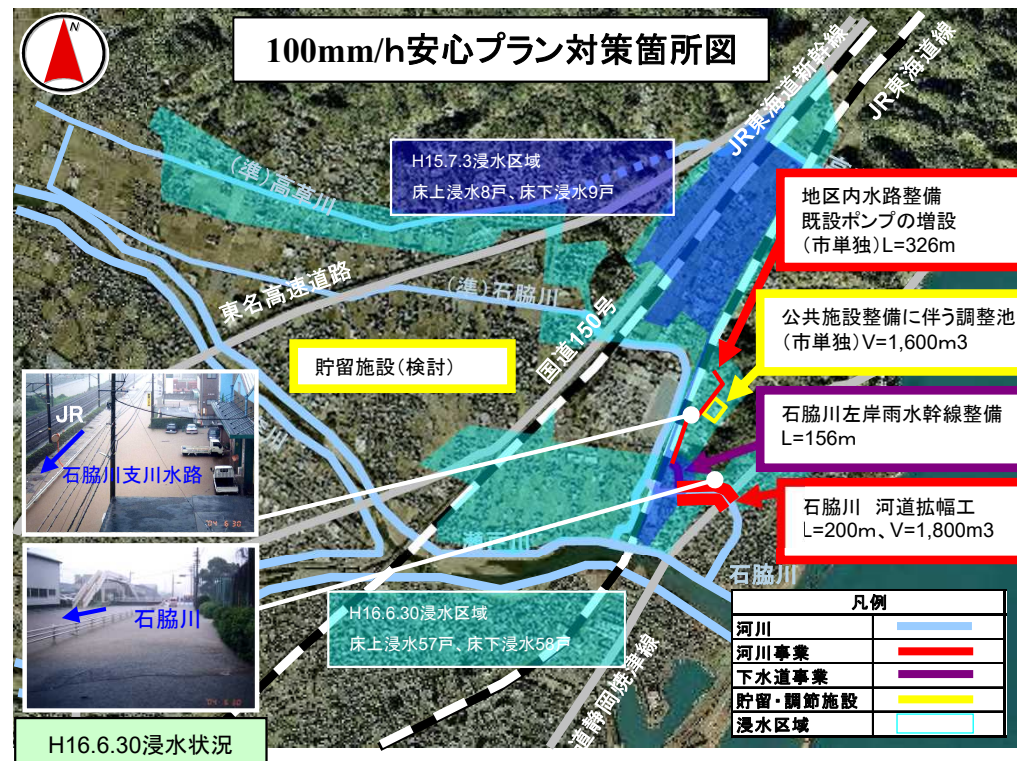
- 関係機関でPDCAサイクルによる進捗管理を実施
- 進捗状況について毎年公表するとともに、住民との協働により推進

目標期間(8ヵ年)における対策効果を確認しながら順応的に計画を修正し、流域全体の治水安全度を高める

取組の効果

期間内(H25～R2)に関係機関が対策を実施することにより、対象とする降雨と同規模の降雨に対して流域で床上浸水被害を概ね解消する。

100mm/h安心プラン対策箇所図



H16.6.30浸水状況